

特集

Exploring School Adventures in Africa

アフリカの学校を探検する



AFAMのウェブサイトからご覧いただけます。

03 アフリカの歴史館
A Historical Showcase

04 **アフリカの学校を探検する**
EXPLORING SCHOOL ADVENTURES IN AFRICA

06 カーボベルデの紹介
Introducing Cabo Verde

08 カーボベルデの食文化
Cabo Verde Food Culture

10 アフリカの子どもたちの物語(亀とうさぎ)
African Kids Story - [The Tortoise And The Hare]

12 アフリカン・マスク
African Masks

14 【宮城で学んだ若者たちの活躍】 - ①
持続可能な地域開発のための農業サービスと研修を通じてアフリカの若者に力を与える
Empowering Young Africans through Agricultural Services and Training for Sustainable Community Development

16 【宮城で学んだ若者たちの活躍】 - ②
学界と産業界の橋渡しでアフリカの子どもたちの教育を変える
Bridging Academia and Industry To Transform Children's Education In Africa

18 【宮城で学んだ若者たちの活躍】 - ③
AIを使用したアフリカ方言の保存
Preserving African languages Using AI

皆さん、ようこそアフリカ歴史館へ。私たちはアフリカ大陸を造った有名な人物を見ることにしましょう。ここでは、その足跡が幾世代にもわたって感動を与えてきた人物にスポットライトを当てています。歴史を振り返り、優れた指導者の生涯を探ってみましょう。



◆◆◆
ネルソン・マンデラ
Nelson Mandela (1918年 - 2013年)

南アフリカの歴史に際立つ人物。反アパルトヘイトの革命家、政治指導者、慈善家であるマンデラは人種差別制度の終焉に極めて重要な役割を果たしました。1994年には南アフリカ初の黒人大統領として歴史にその名を残しました。



◆◆◆
クワメ・ウンクルマ
Kwame Nkrumah (1909年 - 1972年)

次の世代を見据えた汎アフリカ主導者であり、ガーナの初代首相兼大統領。エンクルマが率いるガーナは1957年に独立し、アフリカ統一機構(OAU)設立の原動力となりました。



◆◆◆
ワンガリ・マータイ
Wangari Muta Maathai (1940年 - 2011年)

ケニア出身の環境活動家でノーベル平和賞受賞者。グリーンベルトの創始者でもあるマータイは自然保護を行うとともに女性の権利を擁護し、アフリカの持続的な環境景観保全に足跡を残しました。



◆◆◆
ハイレ・セラシエ1世
Haile Selassie I (1892年 - 1975年)

エチオピア皇帝であるハイレ・セラシエ1世は第二次イタリア・エチオピア戦争中において抵抗運動の象徴でした。また、セラシエ1世はアフリカ統一機構の設立に重要な役割を果たしました。



アフリカの学校を探検する

アフリカの広い大地に朝日が昇る頃、学び、笑い、友達と触れ合うことを楽しみにしていた生徒たちが学校に集まってくる。そして授業を待つ生徒たちのおしゃべりや会話が飛び交う中で、学校の朝は賑やかに始まります。

始業時間は午前8時頃が一般的です。学校の1日は朝の集会から始まります。先生の話聞くために生徒たちが集まり、国歌を歌うなど、さまざまな活動が行われます。授業はクラスごとに分けられ、算数、理科、国語、社会などの教科を重点的に学びます。

科目や授業の時間は学年のレベルやカリキュラムに応じて割り当てられています。生徒たちは、授業の合間の休憩時間にひと休みをしたり、おやつを食べたり、気分転換をして過ごします。休憩の時間や回数はさまざまですが、たいていお昼にはランチタイムが設けられています。文化や地域的な好みに応じて生徒たちが食べる料理も多種多彩です。

昼休みや放課後にスポーツ、音楽、演劇などの課外活動やクラブ活動を行う学校もあります。地域や学校にもよりますが、たいてい学校は午後2時から4時頃に終わります。

放課後、生徒たちに宿題や学習時間が追加される場合があります。宿題の量はさまざまで、個別に指導を受けたり、グループ学習に参加したりする生徒もいます。

アフリカの学校を探検する

多様性に溢れた教室

アフリカの学校で最も面白い特徴の一つは、教室の中が驚くほどの多様性に溢れていることです。さまざまな民族的背景や文化、言語を話す生徒たちが集まり、経験という色とりどりの絵柄を紡いでいきます。この多様性は、単に喜ばしいだけではなく、子どもたちの学びの過程において大切な役割を担っています。つまり、心や考え方が柔軟な時期にグローバルなものが見方が育まれていくのです。



野外アドベンチャー

アフリカの学校の多くは、自然に触れ合う機会を大切にしています。豊かな緑や色鮮やかな花々に囲まれた中で学ぶ野外授業では、教室では味わうことのできないユニークな環境を体験できます。巨大なバオバブの木陰で算数の問題を解いたり、やさしい風を感じながら空想的な物語を読んだりする風景を想像してみてください—なんと魅力的な体験でしょう！



午後の探求

午後になっても、生徒たちの熱気はスポーツ、クラブ活動、課外活動へと続きます。学校のグラウンドでサッカーをしたり、演劇クラブや科学クラブに参加したりするなど、生徒たちには、探求の場所を教室から屋外に変えてそれぞれの情熱を注ぐことができる場が豊富に用意されています。



学びと希望

学校が終わると、生徒たちは1日の達成感や将来への夢を抱いて家に帰ります。多くの課題が待ち受けているけれど、学びは限りない可能性をもたらしてくれます。カバンいっぱい知識を詰め込んで、夢に満ちた心で生徒たちはそれぞれの明るい未来へと想いを馳せているのです。



Introducing Cabo Verde



カーボベルデ共和国の紹介

大西洋の宝石を公開

カーボベルデへようこそ！ここは、アフリカの活気あるリズムが島ののんびりした魅力と出会う場所です。大西洋の中心に隠れるように位置し10の島からなるこの美しい群島は、忘れられない逃避行を求める冒険者を待っている、隠れた宝石です。

アフリカとポルトガルの影響が融合したカーボベルデは、その料理を味わうことができた幸運な人々の味覚をとらえる、豊かで多様な食文化を誇っています。この料理は、新鮮な地元産の食材、香り高いスパイス、そして島々の活気ある精神を反映し深く根付いた文化遺産を讃えるものです。

カーボベルデを訪れてみましょう。すべての瞬間が、永遠に残る思い出になります。ここは単なる目的地ではなく、あなたの冒険心をかき立て、内なる探検家を目覚めさせる体験野場です。カーボベルデの魔法を解き明かす準備はできていますか？冒険があなたを待ちかまえています！



1 カーボベルデのビーチ



カーボベルデは世界有数の息をのむほど美しいビーチを誇っています。結晶のように透き通ったターコイズブルーの水に撫でられるサラサラの白い砂浜を想像してみてください。その砂浜は印象的な火山地形によって造られています。カーボベルデのビーチは、あらゆる旅行者にとって理想的な天国を提供します。

2 フォゴの火山峰



冒険好きにとって、カーボベルデは探検すべきパラダイスです。フォゴのそびえ立つ火山峰を制覇してみてください。そこからのパノラマの景色に息をのむことでしょう。青々とした谷をハイキングし、古代の溶岩洞窟を探検すると、野生の美しさがあなたを夢中にさせます。

3 文化と色彩のタペストリー



カーボベルデの豊かな交じり合った文化をめぐる旅に出ましょう。ここでは、アフリカ、ポルトガル、ブラジルからの影響がシームレスに組み合わさっています。カラフルな市場は生き生きとしており、地元の工芸品やスパイス、そしてカーボベルデの人々の温かいおもてなしに出会うことができます。

4 ミンデロのカーニバル



カーボベルデの陽気な祭りを目的とした旅の計画を立てましょう。島々は音楽、ダンス、そして楽しそうな式典で活気づきます。2月に開催されるミンデロのカーニバルは、色とリズムの万華鏡で、あなたを魅了するでしょう。

カーボベルデの食文化

カチューパを作ってみましょう!

Let's cook Cachupa!

カーボベルデの風味に浸り、本格的で心躍る料理の扉を開けましょう。



民的な料理であるカチューパはカーボベルデ料理の中心とも言える存在です。この心温まるシチューは食料が乏しい時代に、手に入る材料を使って美味しく且つ栄養のある料理を作ったのが始まりです。島の人々が苦境を乗り越えてきたことを反映しています。

伝統的な石鍋に入っているカチューパ



材料

乾燥白とうもろこし	3カップ	パクチのみじん切り	半束
乾燥白インゲン豆	2カップ	玉ねぎのみじん切り	大1個
豚ロース	450g	乾燥ローレル	4-5枚
豚の肩肉	450g	にんにくのみじん切り	5-6個
刻んだ小松菜	450g	トマトペースト	80g
種をとった皮つき西洋かぼちゃ	450g	塩	大さじ2
皮を剥いてスライスしたさつまいも	450g	オリーブオイル	1/4カップ
刻んだトマト	大1個	冷凍インゲン豆	200g

作り方

- 【Step 1】 乾燥白とうもろこしと白インゲン豆を大きな鍋に入れて一晩水に浸す。
- 【Step 2】 翌日 Step1をザルにあげ簡単に洗う。水を鍋いっぱいまで入れ、とうもろこしとインゲン豆を加える。お湯が沸騰したら中火で2時間煮る。
- 【Step 3】 豚ロースと肩肉を大きめに切り、残りの野菜や調味料およびオリーブ油と共に鍋に加える。約1時間材料が柔らかくなるまで煮込む。フォークを刺して材料が柔らかくなっていたら完成。
- 【Step 4】 お皿に盛ってスプーンで召し上がれ。

KidsStory

亀とうさぎ



昔々ある所に、他の動物達に自分の速さを自慢したがるうさぎがいました。

亀がうさぎの挑戦を受けた時はみんなびっくりしました。亀がとても遅い事をみんな知っていたからです。レースの日が決まり動物達はその日が来るのを楽しみにしていました。

レースの日が来ると誰も市場や狩りに行ったりせず、みんな集まって亀とうさぎのレースが始まるのを今かと興奮して待っていました。両者とも準備万端で自信に満ちていましたが、みんな勝ち目はないのになぜ亀が自信を持っているのか不思議に思っていました。

象が大きな笛を吹き鳴らしその音がジャングル中に響くとレースが始まりました。みんなの耳と目はうさぎと亀に釘付けになりました。一体誰がこの大レースに勝つのでしょうか？

うさぎは猛ダッシュで殆ど見えなくなってしまいました。すると間もなく足を止め、亀は元々相手にもならない挑戦を引き受けるべき相手ではなかったと横になって昼寝を始めました。

亀はゆっくりでも着実に前に進んでいて、後ろを振り返ることはありませんでした。うさぎが目覚めた時には亀はゴールの近くまで来ていて、急いで飛び起きて追いつこうとしましたが既に遅く勝負は決まっていました。

動物達が驚いている中、亀はゴールしました。みんな信じられませんでした。うさぎは亀にお祝いの言葉を述べ、亀の勝ちを認めざるを得ませんでした。動物達は亀からとても大切なことを学びました。



日本でもよく知られている「うさぎと亀」が、アフリカでは「亀とうさぎ」というタイトルで語られています。

アフリカン・マスク(仮面)

日 本の多くの方にとって、アフリカの仮面は馴染みがなく、アフリカの仮面がどんなものか見当が付かないかもしれません。

言葉ではなく、複雑な彫刻、鮮やかな色彩で文化的な象徴によって物語を伝える。そんなキャンバスを想像してみてください。それこそがアフリカの仮面なのです。アフリカの仮面はただの装飾品ではありません。一つ一つが物語を伝える、生きている美術品なのです。熟練した職人が様々な木材や金属、織物、ビーズなどの素材を使い、視覚的にも美しく文化的にも重要な仮面を作ります。仮面の装飾は言葉のごとくアフリカ社会の歴史や信仰、伝統について伝えてくれます。



ゲリード仮面 (ヨルバ、ナイジェリア):
社会の女性の力強さを称賛するゲリードの祭りに使われる仮面です。頭部に巻かれた布、顔に施された傷の装飾が表現されたゲリード仮面は、女性の聡明さと力強さを褒め称えています。



バウレゴリ仮面(バウレ、コートジボワール):
動物や魂などのさまざまな生命体を表現する仮装祭りに用いられます。細長い面に精密に顔の特徴が刻まれています。バウレの類まれなる職人技が見て取れます。

世界への影響

文化交流:

アフリカの仮面はアフリカ文化の広告塔となっています。世界中の美術館や個展でアフリカの仮面は展示され、文化交流を促進し、アフリカの芸術的技術への理解を深める役割をしています。

ファッションやデザイン:

独創的なデザインや鮮やかな色彩のアフリカの仮面は世界のファッションやデザインに影響を与えています。ファッションショーのランウェイから室内装飾に至るまで、伝統的な美しさと現代的なスタイルとの融合により、アフリカの仮面は様々な創造的分野でその存在感を示しています。

現代美術におけるシンボル:

アフリカの仮面は独自の精神性、文化的遺産を力強く伝えるものです。現代美術はアフリカの仮面から多くの発想を得ており、それらのシンボルを取り入れることで伝統と革新を両立させようとしています。

経済基盤の強化:

アフリカの仮面に対する需要は地域の職人や社会への経済的な機会を創出します。海外への販売や海外との共同制作によりアフリカの職人達は伝統工芸を保持し、その良さを広めることができます。そして次世代へ収入源をもたらしています。



持続可能な地域開発のための 農業サービスと研修を通じて アフリカの若者に力を与える

農学者であり農学博士でもあるゴンロウドボウ・マリエッタ氏は、ベナンのパラコウ大学で講師を務めています。彼女は農業における最先端の研究成果と独創的な解決策を専門としている企業、AgroHikari社の創設者でもあります。世代を超えて研究者と個人をつなぐ架け橋となっています。



アフリカの素晴らしい景観の中にたたずむAgroHikariは、「持続可能な地域開発のための農業サービスと研修を通じて、アフリカの若者に力を与える」というビジョンをもって、地域社会に元気を与え、持続可能な未来を実現することを目的としています。

人口増加、気候変動、食糧不安といった課題に直面するアフリカでは、若い世代が極めて重要な役割を担っています。私たちは革新的な農業サービスと総合的な研修プログラムを通じて、アフリカの若い世代の未知の可能性を引き出すことを目標としています。

この取り組みは希望の光となり、地域社会を経済的繁栄と環境の回復へと導きます。

歴史的にアフリカの経済は農業で支えてきました。しかし、時代遅れの農法や最新技術へのアクセス不足によって、十分にその可能性を引き出せていないのが現状です。

私たちは若い農民たちにオーダーメイドの農業サービスを提供することでこのギャップを埋め、生産性を向上させ、より良い変化のサイクルを生み出しています。農業ビジネス経営、持続可能な農法、バリュー・チェーン開発に関する研修を提供し、当面の食糧需要に応えるとともに、より広範な経済成長に貢献しています。

アフリカの農業が発展するには、現地の生産者と大学が積極的に様々な研究活動を行うことが不可欠だと考えています。生産者と大学との結びつきを確立することで、科学的な説明を伴った伝統的な技術を新しい世代に伝えることが容易になります。また、生産者が直面する課題を理解し、実行可能な解決策への道を開くこともできます。私たちの戦略的アプローチは、デジタル・プラットフォームとソーシャルメディアを活用し、科学的研究成果と革新的な農業ソリューションを紹介することで、研究者と農家を結び付けています。

2万人近いフェイスブックのフォロワーと4,000人以上のYouTubeチャンネルを持つコミュニティで積極的に視聴者と関わっています。



AgroHikariのサービスは、コミュニケーション、農業サービス、研修の3つを柱としています。コンサルティングサービス、個別指導、グループ指導、その他様々なサービスを通じて、プロフェッショナルから素人まで、農業プロジェクトの実現をサポートしています。特に、デジタル農業革新の最前線にあり、ドローンサービスを取り入れ、ベナンのデジタル農業スタートアップのトップ5に選ばれています。



変わりゆく アフリカの 子どもたちの教育



教育が社会の進歩に重要な役割を果たす時代において、優れた学業と社会経験が結びつくことは、ポジティブな変化をおこす力になります。この記事は、宮城アフリカ協会 (AFAM) のITマネージャーであったジョシュア・オウオイェミ博士の素晴らしい道を探ります。彼の東北大学での研究実績、およびエリックス社 (Elix Inc) やビードウト社 (Beadaut) での幅広い事業経験は、アフリカの子どもたちの教育を変える力となっています。

オウオイェミ博士の東北大学での研究生生活は、人工知能 (AI) と機械学習の画期的な研究に費やされました。社会の問題に対する革新的な解決策に焦点をあて、システム情報科学の博士号を取得。ジェスチャー認識やロボット制御のディープラーニングのプロジェクトなどに参画して、AI研究へ貢献しました。この時期は、方法論とグローバルな問題に対する深い理解を得るうえで重要であり、実践的な状況で応用できる知識とスキルを身につける機会となりました。彼の研究成果は、ICRA (International Conference on Robotics and Automation) や BMVC (International Conference on Robotics and Automation) などの国際会議で発表され、知識と学問的向上に尽力するという彼の意志を裏付けています。

オウオイェミ博士は、Beadautの創設者兼CEOとして、2000人以上のユーザーに優れた教育リソースを提供することで教育に大きな影響を与える学習プラットフォームを設計しました。彼の責務には、プラットフォームの基盤構築、コンテンツの管理、若手プロフェッショナルの指導が含まれています。



ジョシュア・オウオイェミ博士
Dr. Joshua Owoyemi

Beadaut 社
創設者兼CEO



2018年、オウオイェミ博士はナイジェリアのアクレにおいて、公立の中学校の生徒たちにコンピュータプログラミング教育を提供する、イクイップエーケースクール (equipAKSchool) という革新的なプロジェクトを開始しました。この取り組みは、恵まれない地域の学生に質の高い教育を提供するという重要な課題の認識から生まれました。その目的は、資格を持つ教師の不足のため教育の場が広がらないという問題に対処することでした。

グループ学習プラットフォームであるBeadautの創設は、この課題に直接取り組んだものです。Beadautは、高品質な教育をどこでも受けられるようにし、教育を民主化することを目指して設計されました。その後、コンピュータサイエンス以外のさまざまな学習もできるように拡大され、幅広いクリエイターや学習者に対応しています。

Beadautは、より効果的な学習体験と生徒、学生のパフォーマンス向上のために、ナイジェリアの機関と協力して人工知能を導入しています。

オウオイェミ博士の取り組みでは、アフリカの教育における重要な問題に対処するため、彼の人工知能研究を実際の現場に活かしています。彼は、様々な教育ニーズや状況にあわせて拡張できるモデルを提供しました。

Beadautを通じて、オウオイェミ博士は技術を使って現実の問題に取り組むだけでなく、壁を乗り越える方法を示し、アフリカの子どもたちに質の高い教育への平等な機会を提供しました。

グループ学習モデルは50人以上の人々が学んで新しい分野に移行するのを支援し、AI支援のパーソナライズされた学習環境は柔軟に対応できる解決方法としてナイジェリアの機関に採用され、世界クラスのスキルと知識をより多くの人々に提供しています。

オウオイェミ博士は教育が、より高度に拡張でき、柔軟性があり、どこへでも提供される未来を見据えています。彼の長期的な目標は、アフリカの教育界に永続的な遺産を残し、教育を革新とチャンス之光に変えることです。その影響を持続し拡大するために、Beadautプラットフォームの機能と柔軟性を継続的に向上させ、より包括的で効果的な質の高い教育の提供を目指しています。このビジョンには、プラットフォームの到達範囲と能力を拡大するだけでなく、パートナーシップや協力関係を育てることも含まれています。

自動化の課題と拡張できる教育ニーズに対処することで、オウオイェミ博士はアフリカの教育の風景を革新し、未来の世代がグローバル化された世界で成功するためのスキル、知識、機会を持てるように貢献しています。

PELONOMI MOILOA

ペロノミ氏は、南アフリカのヨハネスブルグで生まれ育ち、大学で生体医工学と電気工学を学びました。その後、独立行政法人国際協力機構(JICA)から奨学金を受けながら、東北大学において神経生理学領域のRNN研究を行い、修士号を取得しています。彼女は現在、Lelapa AIの最高経営責任者(CEO)を務めています。そこは、アフリカ言語の言語テクノロジーの開発のための社会に根ざした研究および製品の研究所です。

「TIME誌、AI分野で最も影響力のある100人」に選出される。

「TED Talks」でプレゼンテーションをする。「Bloomberg社、世界で最も影響力のあるリーダー 2023」として紹介される。



■ 南アフリカでのコミュニティ活動

Q3

AIはアフリカの生活の質の向上にどのように貢献できるでしょうか。

人里離れて農業を営む人々は、気象、害虫の大量発生、干ばつ、病気などのリスク情報にアクセスすることができます。農村部の女性たちは、携帯を使って簡単に健康情報にアクセスし応急処置ができるようになります。子どもたちはインターネットを使って学ぶことができますようになるでしょう。数学や理科で遅れを取ることがなくなり、何よりもまず新しい言葉を学ぶことでしょう。それによって、人々は通話料を心配し、お互いにお金のやり取りをしたり、プリペイド式の電気を買ったりする煩わしさがなくなります。私たちが変えたいと思っているのはこのようなことなのです。

Q4

アフリカの生活の質の向上を目指すプロジェクトに取り組もうと思った動機ときっかけは何でしたか。

私の両親は、白人支配者による黒人への人種隔離政策(アパルトヘイト)に対する抵抗運動に参加していたので、子どもの頃からより平等な世界作りの一部を担わなくてはならないと教えられてきました。南アフリカは世界で最も大きな富の格差がある国の一つです。アパルトヘイト廃止後の今でも差別などの負の遺産が残っています。この現実に伴う不快感はヨハネスブルグのような場所では日常的で、私はコミュニティ、家族、職場のさまざまなメンバーがいかに不平等な生活を強いられてきたかを目の当たりにしてきたので、それを変えたいと思っています。しかし、この困難を強いられているのは南アフリカだけではなくアフリカ全体も同じです。私たちはアフリカ人として、他者との関係性を構築することにおいて重要とされる存在の基本原則を共有し、過去の遺産を受け入れつつあります。私たちは文化的に、個人よりむしろ集団を大切にする傾向があります。アフリカは複雑さに満ちた美しく活気ある場所であり、諸問題の解決に取り組むにはやりがいのある環境です。グローバルノースの豊かさの裏で犠牲になっている現状において、アフリカで私たちがテクノロジーを発展させ、生活の質を向上させることにより、生活や環境に改善をもたらすことができるのです。

Q1

現在、どのようなAIおよび言語関連のプロジェクトに携わっていますか。

Lelapa AIでは、アフリカ人が自分達の言語にデジタル技術を用いて伝達できるように開発を続けています。どういったことかといいますと、英語と同じ方法で利用できる言語テクノロジーの開発に携わっているということです。それによって、情報を検索し要約するチャットGPTのように質疑応答の技術を使用することが可能になるのです。その技術は、私たちの名前を認識して発音できるようにします。また、文字を認識できずEメールやデジタルエッセイ、テキストメッセージの文字の下に赤い波線が現れることもなくなり、言語間の翻訳も可能になります。家庭で英語を話す南アフリカ人の割合は10人に1人にすぎません。つまり、アフリカの言語で容易に伝達できないために電話やコンピューター製品の利用やサービスを受けられない人が5,000万人もいるのです。アフリカ大陸全体となれば、その数はさらに増えます。たとえアフリカの人々が代わりにフランス語やポルトガル語を話したとしても状況はよくなりません。

Q2

AIを活用してアフリカ言語を保護し、保存するための取り組みについて教えてください。

言語とは、人と人が互いにどのように関わり、何を大切にしているのかを記録できる生きたアーカイブです。つまり、何100年にもわたって、それぞれ異なる民族が自分達の背景に基づくさまざまな事柄に深い知識を持ち、自分達の話す言葉で記録してきました。地域特有の薬用植物やハーブの名前とその治療法に関する知識は典型的な例です。世界が言葉を失うと、知識が失われます。人々が言葉を失うと、自分自身を見失ってしまいます。人々が社会に積極的に貢献できるようになるためには、自分の存在意義や帰属意識を持つことが重要なのです。毎年およそ9言語が失われています。このような現象は自然の流れではありますが、生活に必要な機器やサービスを利用することによって、彼らの言語が忘れられることを防げるのです。

インタビュー

アスィードゥ・アイザック・ヤウ

宮城アフリカ協会代表

■ TEDでプレゼンテーションを行うペロノミ



AFAM賛助会員募集中

AFAMは、宮城県や東北に住むアフリカ人と日本のコミュニティとの交流の活動を行っています。国ごとではなくアフリカすべての国を対象とした、ほかの地域にはない組織です。アフリカ開発に関する公開セミナーや、パフォーマンスや地域社会での奉仕活動を通じてアフリカの価値観や文化を促進するイベントや公開セミナーなどを通じて、東北の国際化を支援しています。東北の大学に在籍する学生や社会人のアフリカ出身者、約100人とネットワークを結んでいます。

AFAMは市民活動に参加し、自治体や団体と協力して、アフリカの価値観や文化に対する日本社会の理解を深め、東北の活動を支援しています。また、東北地方の大学に留学するアフリカ人留学生を歓迎し、彼らを支援しています。JICAなどの機関や地元企業と協力して、アフリカ開発に関する公開セミナーや留学生のためのスタディーツアーを開催しています。地方自治体や市役所・区役所が開催するイベントに積極的に参加しています。老人ホームを訪問し、アフリカの価値観を伝えるために歌やダンスを通じて高齢者との交流を行っています。是非私たちの活動をご支援ください。

賛助会ご加入希望者は、AFAMまでメール等でご連絡下さい。『support.afam@afam-org.com』

◎ 賛助会員の区分と年会費

- 個人会員 1口 3,000円
- 団体会員（企業などの法人、任意団体など） 1口 10,000円
※ 1口以上、何口でも結構です。

◎ 賛助会員の特典

- 個人会員 アフリカ現地で購入したビーズブレスレットなど。
- 団体会員 アフリカ出身のAFAMメンバーが講師として、ご要望のテーマで出前授業。

◎ 賛助会員の会費指定口座

七十七銀行 一番町支店(205)普通預金口座:5009810

【宮城アフリカ教会 会長 ASIYEDU ISAAC YAW】

スポンサー



公益財団法人宮城県国際化協会
未来の東北博覧会記念国際交流基金助成金事業



みやぎ生協



株式会社カネダイ



ボーダレス株式会社



本雑誌はダウンロード可

PDF版はこちら >>

afam-org.com/afrimag/

